

挨拶

～ 中部地方整備局 総括防災調整官 富田 直樹 ～

日頃より、中部地方整備局の防災に関する業務に対し、格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

防災エキスパートの皆様には、管内各地での水防演習や防災訓練への参加、重要水防箇所の合同巡視、意見交換会など、様々な活動を通じて、貴重なご意見を頂き感謝申し上げます。

さて、気象災害の激甚化、頻発化が目に見える形で進んできていると言われています。中部地方整備局管内では、昨年6月の台風第2号では、断続的に線状降水帯が発生し、多くの地点で24時間降水量が観測史上1位を記録しました。特に、愛知県、静岡県の各地で土砂災害、浸水被害、道路や河川などの公共土木施設の被害が多数発生しました。

また、今年に入り、能登半島地震や豊後水道を震源とする地震が発生するなど、防災に対する日ごろからの備えが重要となっているところです。能登半島地震においては、中部地方整備局管内では大きな被害はなかったものの、被災を受けた自治体を支援するため、3県13市に、現地での情報収集、被災状況調査など、TEC-FORCEを延べ2,191人・日、企業従事者を延べ2,089人・日を派遣し、早期の復旧・復興に向け被災自治体の支援をしました。また、建設業界の皆様のご協力のもと、照明車や給水車等のオペレーションなどをしていただいたところです。これらの活動に対して、被災自治体各位より、多くの感謝の声が寄せられました。

国土交通省に対する防災・減災や地域への期待は益々大きくなってきております。近い将来発生が想定されている南海トラフ巨大地震や、計画規模を超えるような洪水等への対応にも備えていかなければなりません。

一方で、災害対応を経験した職員も少なくなっています。豊富な知識や経験がある、防災エキスパートの皆様からのご協力をいただきたいと思います。中部地域づくり協会と整備局が連携して、地域の安全・安心に貢献できるよう精一杯取り組んで参りますので、引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。

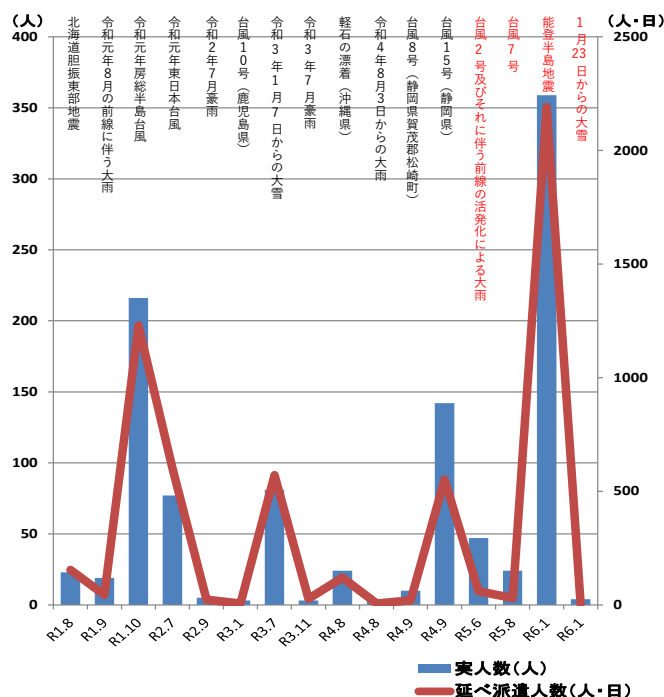


総括防災調整官
富田 直樹

TEC-FORCEの派遣実績（中部地方整備局）

- 創設から現在まで延べ約13,700人・日を派遣
- 令和5年度は延べ2285人・日（実人数434人）を派遣

TEC-FORCE派遣実績（令和元年度以降）



地区代表・世話役会議

令和6年度は、下記の2つの会議構成とし、基本、対面での会議とします。

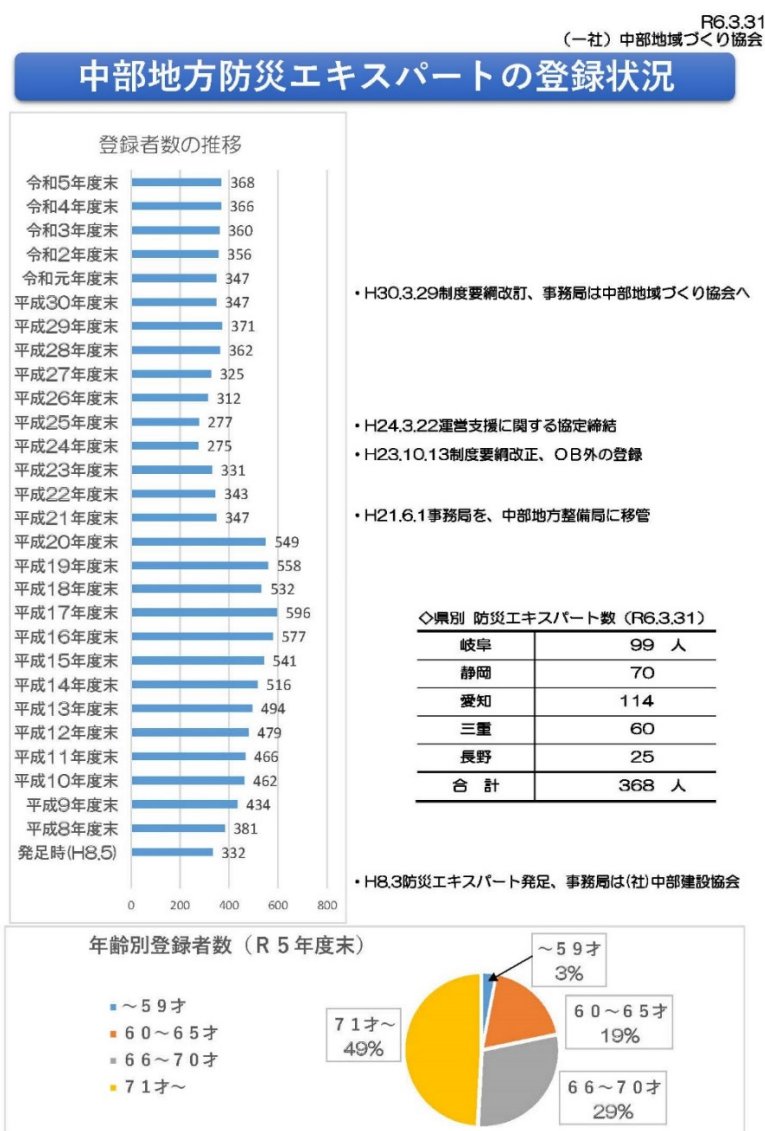
①地区代表会議（令和6年6月5日(水) 15:30～17:00 中部技術事務所2階会議室）

メンバー：整備局防災マネジメント室、支部長＋地区代表

②地区会議（意見交換会）

メンバー：関係事務所、支部長＋α、地区代表、世話役、エキスパート

- ・地区別会議の開催単位につきましては、少数での開催、ブロックでの開催など、臨機に対応をお願いします。
- ・整備局の出張所など出先の要員が不足していること、出水時巡視の委託状況の変化等ありますが、防災エキスパートが現場に行くなど職員の代わりとしての支援ではなく、助言やサポートの支援が基本となるよう注意していきます。
- ・国交省を退職した方が積極的に登録して頂くように、整備局・事務局ともに働きかけをします。



○河川重要水防箇所合同巡視に参加

出水期を前に、各河川における重要水防箇所の合同巡視が行われ、各地区の防災エキスパートが参加しました。

※ すべて敬称略

▶ 浜松河川国道事務所

4月27日(木) 天竜川 10名 志田 興一、鷹野 弘行、高橋 正行、田光 宏三、山住 和恵、水野 益宏、新村 孝行、末吉 次明、三木 栄一、村越 宗司

28日(金) 天竜川 4名 神谷 信昭、志田 興一、新村 孝行、鷹野 弘行

5月19日(金) 菊 川 7名 栗田 市松、松浦 勝巳、内山 武彦、山住 和恵、水野 益宏、杉野 浩文、高橋 正行

▶ 三重河川国道事務所

5月25日(木) 宮 川 5名 長澤 宏和、下里 武司、積木 優、下村 卓、奥川 佐

29日(月) 雲出川 5名 久保 雄一、佐藤 久則、堀江 勝樹、笠井 康宏、奥川 佐

30日(火) 鈴鹿川 5名 久保 雄一、作田 豊彦、水谷 正美、川下 正一、井田 理

31日(水) 櫛田川 6名 久保 雄一、和田 光広、堀江 勝樹、牛場 久典、奥川 佐、井田 理

▶ 豊橋河川事務所

5月29日(月) 豊 川 1名 長嶋 佳孝

31日(水) 矢作川 1名 牧野 正博

▶ 沼津河川国道事務所

6月 5日(月) 狩野川 3名 工藤 隆、落合 綱三、水野 良浩

8日(木) 狩野川 3名 佐野 純一、鈴木 守、落合 綱三



○各事務所との意見交換会 ～防災エキスパート～

木曽川上流河川事務所で意見交換会が開催されました！
他の事務所では意見交換会が中止になりました。

令和５年度に行われた、事務所との意見交換会の様子は以下のとおりです。

４年ぶりに対面による会議室を開催しました。各事務所の事業概要説明の後に活発な意見交換を行いました。災害発生初期の情報伝達方法（窓口）の確認、ボランティアとして協力できる内容の確認などができました。

顔の見える関係が、いざという時のスムーズな活動の第一歩になると思います。



開催名称	開催場所	実施日	関係事務所等	参加人数
岐阜県 西濃地区	木曽川水系ダム統合管理 事務所 2階会議室	R5.5.25	木曽川上流河川事務所、 木曽川水系ダム統合管理事務所、 越美山系砂防事務所	防災エキスパート 26名 国交省職員 23名

○洪水対応演習・防災訓練に参加

➤ 令和5年度 木曽三川連合総合水防演習

5月の水防月間に木曽三川総合水防演習を開催しました。海部地区総合防災訓練と合同開催とし、水防工法訓練、地震防災訓練、展示ブースなど様々な機関が参加しました。演習では、「緊急速報メール」の配信訓練を実施しました。

3名の防災エキスパートが参加し、堤防点検報告訓練を行いました。

日 時：令和5年5月21日(日) 9:00～12:00

場 所：愛知県愛西市立田町地先

(木曽川右岸 14kp 付近 河川敷東海広場西エリア)

参加者：3名 久保 雄一、井田 理、谷口 孝司



➤ 令和5年度 大規模津波防災総合訓練

地震による大規模津波の被害軽減を目指すとともに、津波に対する知識の普及・啓発を図るため、「津波防災の日」「世界津波の日」にあわせ、総取扱貨物量日本一の「名古屋港」で開催しました。南海トラフ地震による津波襲来を想定した、国、地方公共団体、公共機関、企業、地域住民による、救命・救出、道路・航路啓開、緊急排水等の総合的な実動訓練を「陸海空」において実施しました。

名古屋地区から3名の防災エキスパートが参加し、河川管理施設（護岸等）の被災状況調査訓練（訓練当日は収録映像を巨大スクリーン等へ映写）を行いました。

日 時：【訓練】令和5年11月11日(土) 9:00～11:00

【収録】令和5年10月16日(月) 10:00～11:00

場 所：【訓練】名古屋市港区（名古屋港ガーデンふ頭）

【収録】愛知県名古屋市西区山田町大字中小田井

(一級河川庄内川右岸 16.4kp 小田井水門付近)

参加者：3名 小河 俊美、河寄 祐次、白木 久也



「中部地方防災エキスパート制度」とその他制度の区分

制度名	中部地方防災エキスパート制度	河川等災害アドバイザー制度	中部地方災害危機管理マスター制度
設立	平成8年3月	平成19年8月	平成21年1月 (令和3年3月廃止)
事務局	(一社)中部地域づくり協会(公益活動)	(一社)中部地域づくり協会(公益活動)	(一社)中部地域づくり協会(公益活動)
活動内容	自主的に公共土木施設や市街地の状況を目視確認し、担当事務所へ情報連絡	応急復旧工法に対する中部地方整備局職員への技術的助言	災害現場や公共機関の災害対策本部に出勤し、応急対策、緊急復旧に対する助言、提案
要件	公共土木施設の被害状況等について把握ができる者(国交省・県OB、民間)	河川等施設の災害復旧の専門的ノウハウを有する者(国交省OB)	協会理事長が委嘱(学識経験者、国交省OB)
活動形態	自主活動もしくは中部地方整備局からの要請	中部地方整備局からの要請	中部地方整備局、地方公共団体からの要請
活動のタイミング	災害初動時	応急復旧時	応急復旧時等
専門性等	公共土木施設等の整備、管理経験に基づく	河川等施設の災害復旧の経験に基づく	専門技術的、学術的な助言、提案

中部地域づくり協会HP／防災に関する事業 より

(一社)中部地域づくり協会の災害支援制度

令和3年4月1日

支援内容により二つの制度があります

河川等災害アドバイザー

河川等施設の災害復旧についての経験を持ち適切にアドバイスできる者
風水害等による大規模災害発生時に、直轄の河川等の災害応急対策のアドバイザーとして支援活動を行う。

【河川等災害アドバイザー】

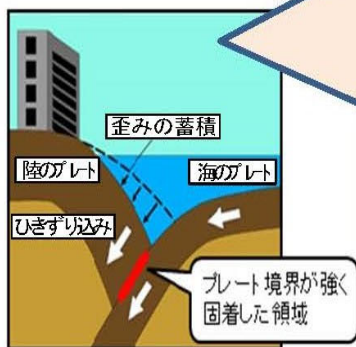
防災エキスパート

公共土木施設等の整備・管理等についての専門的な技術を持つ者
災害が発生又は発生する恐れがある場合に、ボランティアとして行政機関等の防災協力活動を行う。

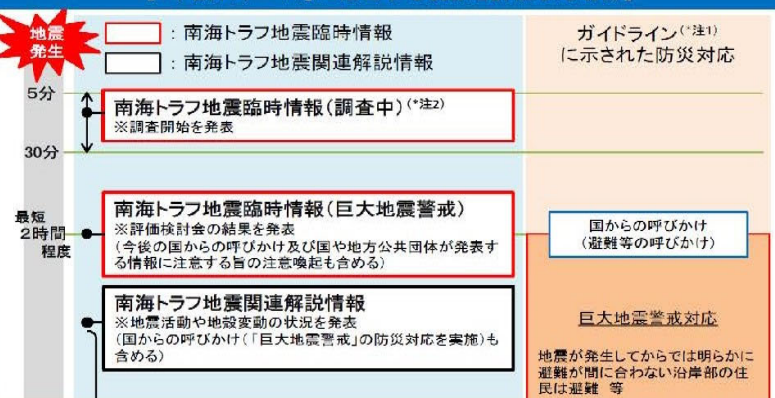
【防災エキスパート】

「南海トラフ地震に関連する情報」の名称について

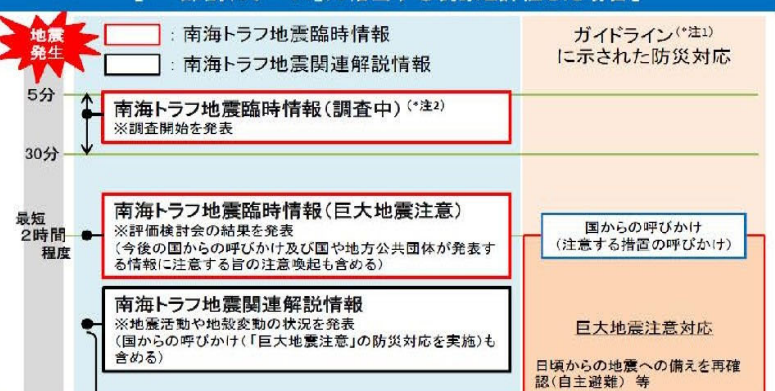
平成31年3月29日気象庁では、「防災対応検討ワーキンググループ」の報告書を踏まえ、南海トラフ沿いで発生した異常な現象の観測結果や分析結果を発表する情報の名称を決定しました。



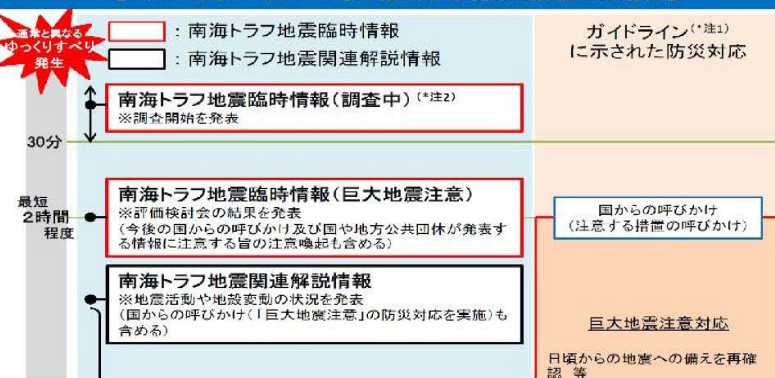
南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ【「半割れケース」に相当する現象と評価した場合】



南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ【「一部割れケース」に相当する現象と評価した場合】



南海トラフ沿いの異常な現象への新たな防災対応を踏まえた情報発表の流れ【「ゆっくりすべりケース」に相当する現象と評価した場合】



～ 防災エキスパート会員登録状況 ～
令和6年3月31日現在 368名

加入・退会、勤務先等変更のある方は、下記事務局までご連絡下さい。

発刊：中部地方防災エキスパート運営支援事務局

(一社) 中部地域づくり協会 企画技術部

名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 名古屋丸の内ビル8階

TEL052-962-2227 FAX052-950-1178